

# 2025年度 学力試験問題

## 一般入試 I 期 A (1/25)

# 国 語

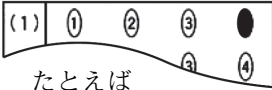
[60分]

- 注意**
1. 試験開始の合図があるまでこの冊子は開いてはいけません。
  2. この冊子は23ページあります。ページの脱落や解答用紙の汚れがあった場合には、監督者に申し出てください。
  3. 問題冊子には受付番号を記入してください。
  4. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。
  5. 問題冊子は持ち帰ってもかまいません。

### マーク式解答用紙の記入上の注意

1. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆で記入してください。

2. マークの記入方法

「正しい例」	「悪い例」	 <p>たとえば 解答欄(1)に4と 解答する場合、 正確にマークして ください。</p>
●	うすい ●	
	ほそい ○	
	短い ○	
	はみだし ●	

3. 訂正するときは消しゴムでいねいに消し、消しくずを残さないでください。  
右図のように×印をつけても消したことはありません。  
また指定欄以外には何も記入しないでください。



- ◎ 解答用紙には受付番号と氏名を記入してください。  
受付番号は左端から記入し、受付番号欄のマーク欄にも必ずマークしてください。
- ◎ 受付番号を正しくマークしていない場合、採点できないことがあります。

受 付 番 号

--

一、次の精神科医が記した文章を読んで、後の問いに答えよ。

長い年月、中学校で国語を教えていた知人Nが語った話である。

教室がざわついているというか、全体に落ち着かない。私語が飛び交い、おどけながら後ろを振り向いたり、机にまだ教科書を出していない生徒もいる。しばらく教壇からじつと黙ったまま彼らを見渡していたが、静かになりそうな気配はない。

Nは少々思案してから、そつと黒板に歩み寄り、チョークで〈恐怖〉という二つの文字を大きく書いた。それから、さきほどの続きで「I」沈黙を守っていた。

すると生徒たちが黒板の文字に気づき始めた。おや？という表情で彼に注目するようになった。「恐怖の掃除当番！」などと大声を上げて笑い合うような生徒もいたが、やがて教室のざわめきは徐々に消え、教諭が何を語り出すだろうと期待が膨れ上がりつつあるのが感じられた。

「今日の君たちはあまり勉強する気分でないようだから、ちよつと雰囲気を変えよう。皆で、恐怖を覚えたとか怖くてフルaえた——そういった経験について話し合ってみよう」

そんな提案をNがすると、生徒たちはたちまち目を輝かせた。まずNが、子ども時代に田舎で、独りで裏山に迷い込んで脱出が叶かなわず、誰にも発見してもらえないまま不安な一夜を過ごした話を披b口ウした。かなり誇張や

脚色を施して。

教室はしばらく恐怖談議で盛り上がり、活発な発言が相次いだ。誰もが饒舌じょうぜつになった。最後にNが締め括りくとして「今、君たちにとって最大の恐怖は、期末試験かな」と言うと、生徒全員が笑顔で深く頷うなずいたという。

黒板に「恐怖」と書くなんで発想はどうやって得たのかとNに尋ねてみると、自分でも分からないと彼は答える。

「でも、少なくともこの二文字だけで、インパクトは絶大だろ」

彼は眠そうな表情でそう呟つぶやいた。

この話が妙に印象に残っている。たしかに恐怖というテーマは人を惹ひきつける。恐怖には、怪異や非日常から身につまされる体験までさまざまな出来事が含まれる。どんなものに恐怖を感じ、どのように振る舞い、それをどんな言葉で語るかによって、当人の Ⅱ がありありと立ち上がってくるようにも思える。

精神科医として臨床にタズサcわっていると、恐怖そのものをダイレクトに訴えてくる人には滅多に出会わないことを知る。だが彼らの症状のコン底dには、遠い過去に、さまざまな形で遭遇した「恐怖」が横たわって影響を及ぼしていることが少なくない。いわゆるトラウマも、 Ⅲ 恐怖体験と見なせるのではないか。自分ではうつ病だとさかんに主張しているが、実際には職場恐怖症であると判断されるケースもある。妄想と恐怖とが合

体して、頭の中が大変なことになっていく人もいた。自分では意識していない恐怖は案外多い。

閉所恐怖や高所恐怖で仕事に差し支えて困ると縋すがってくる人には、なぜか一度も遭遇していない。もしかするとカウンセラーのほうを訪ねているのかもしれないが、カウンセリングや行動療法で簡単に治るとも思えない。薬を使ってもかなり難しいだろう。だからたとえばピエロ恐怖を何とかしろなどと要求されても打つ手がない（そのように訴えてきた人もいないが）。そもそもわたし自身が甲殻類恐怖症で、六十年以上持続しているが、もはや諦あきらめのキョウ地eである。

恐怖に悩まされつつ日々を送っている人もいれば、恐怖小説やホラー映画、お化け屋敷やジェットコースターなど恐怖を体感するアトラクションに夢中になる人たちもいる。いや、どちらも兼ねているのがむしろ普通ではないのか。

IV を平気で抱え込めるのが人の心の特徴であるとわたしは思っているが、恐怖をテーマに据えたとそうした特徴がなおさら際立ってくる。黒板に書かれた「恐怖」という文字に強く反応した中学生たちだつて、<sup>①</sup> ささやかだけれどシリアスな恐怖と、娯楽としての恐怖との狭間はざまで青春に目覚め始めていたに違いないのである。

（ 中 略 ）

恐怖は苦痛の一種と見なせる筈はずだ。本来は避けて通りたい体験であり、恐怖に囚とらわれている人には同情したくなる。それなのに、文学や映画においてホラーやホラー風味の作品は需要が多い。蠟燭の炎やキャンプファイアー

を囲みながら怪談を語り合うのは楽しい。お化け屋敷はいつの世も人気が高い。

なぜ恐怖は娯楽となり得るのか——この設問には、言葉のトリックが隠されている。娯楽として提供される恐怖は、もはや恐怖そのものではないからだ。恐怖の抜け殻、恐怖の「まがいもの」、恐怖におけるカニカマみたいなものである。わたしたちは苦痛を味わいたいわけではない。

では何に興味があるのか？

恐怖にはしばしば「極限を超えた事象がもたらす感覚」といった含みがある。恐怖を導き出すストーリーには、往々にして怒りや悲しみや失意が極限に達し、それが物質レベルの法則性を超越して怪異現象や呪いなどに結実するといった図式がある。ときには不条理そのものが強調されるが（途方もないサイコパスとか宇宙怪物、恐るべき偶然やシンクロニシティ、道理に外れた悪意、それどころか正体不明としか呼びようのないものなど）、それもまた認識や理解の極限を超えているといった点で大差はない。

わたしたちは極限だとか臨界、行き着く果てやタブーの向こう、究極や無限といったものが気に掛かる。恐れるとともに、気に掛かる。結局どうなっているのか、もっともつとエスカレートさせたらどうなるのか、とにかくそれを知りたい。命懸けの探検や冒険、危険な実験やトライアル、そしてきわめて多くの愚行が、最終的にはそこに動機を立脚させている。そう、Vにはわたしたちを「狂わせる」要素がまぎれもなくあり、おそらく娯楽としての恐怖にはそのような狂いに通底した眩暈めまいの感覚が内在している。

（春日武彦『恐怖の正体 ト라우マ・恐怖症からホラーまで』より）

〈注〉

\*サイコパス：・反社会性パーソナリティ障害に該当する精神病質者（精神病ではないが正常との中間状態にある人）で、冷酷・無慈悲・尊大・良心の欠如・罪悪感の薄さなどの特徴を持つ。フィクションの世界ではしばしば異常犯罪者として扱われるが、実際に犯罪を起こすことは稀まれといわれる。

\*シンクロニシティ：・因果関係のない複数のできごとが意味的な関連を持ちながら同時に起こること。直前の「恐るべき偶然」と類似の語。

問一 二重傍線部 a～e のカタカナを漢字に直した時、それと同じ漢字を使うものを、次の各群の 1～4（傍線部）からそれぞれ一つ選べ。

a	1	食欲不シ	2	動ヨウ	3	地シ	4	フツ拭
b	1	口出	2	ロウ読	3	ロウ水	4	波ロウ
c	1	レン動	2	カン係	3	コウ東	4	ケイ帯
d	1	コン包	2	球コン	3	コン難	4	コン雑
e	1	キョウ育	2	公キョウ	3	キョウ土	4	環キョウ

問二

I	1	あきらめて	2	適当に	3	あえて	4	やむなく
II	1	成熟度	2	人間性	3	行動力	4	誠実さ
III	1	広義の	2	架空の	3	未知の	4	通常の
IV	1	葛藤	2	矛盾	3	善悪	4	苦悩
V	1	偶然	2	悪意	3	危険	4	極限

く  
 V に入る語句として最も適当なものを次の各群の1～4からそれぞれ一つ選べ。

- a は解答欄(1)にマークすること
- b は解答欄(2)にマークすること
- c は解答欄(3)にマークすること
- d は解答欄(4)にマークすること
- e は解答欄(5)にマークすること

- I は解答欄(6)にマークすること
- II は解答欄(7)にマークすること

- III  
は解答欄(8)にマークすること
- IV  
は解答欄(9)にマークすること
- V  
は解答欄(10)にマークすること

問三 傍線部①の内容として最も適当なものを、次の1～4から一つ選べ。

- 1 一見たいしたことはなさそうに見えるけれども、実際には重大な影響を与える恐怖。
- 2 今ほたいしたことはないけれども、これから真剣に向き合っていかなければならない恐怖。
- 3 他人から見ると取るに足りないけれども、自分にとっては大きな謎を秘めた恐怖。
- 4 それほどたいしたものではないけれども、自分自身が実際にこわいと感じた恐怖。

解答欄(11)にマークすること

問四 傍線部②の「言葉のトリック」の内容として最も適当なものを、次の1～4から一つ選べ。

- 1 娯楽となり得る恐怖は、本物の恐怖ではなく擬似的な恐怖であるのに、本物の恐怖がそのまま娯楽となってしまうかのように見せかけていること。
- 2 どんな恐怖も、それが娯楽になり得ることは絶対にあり得ないのに、あたかもそれが起こり得ることのように見せかけていること。
- 3 ホラーや怪談話やお化け屋敷は純粋な娯楽と見ることはできないのに、それを純粋に娯楽と見なしして設問に使っていること。
- 4 ホラーや怪談話やお化け屋敷の例から、恐怖が娯楽となることは明らかであるのに、それをわざと謎めいたできごととして取り上げていること。

解答欄(12)にマークすること

問五 傍線部③の説明として最も適当なものを、次の1～4から一つ選べ。

- 1 人間とは全く異なる、物質だけが持っている特異な働き。
- 2 意志や感情を持たない物質にも存在する単純な働き。
- 3 物理学や化学などの物質に関する法則と同様に、理論的に説明ができる働き。
- 4 顕微鏡で見ないと見えない物質のように、目にはつきりと見えない微少な働き。

解答欄(13)にマークすること

問六 傍線部④の「そこ」が指すものとして最も適当なものを、次の1～4から一つ選べ。

- 1 日常的なできごとから離れて、非日常的な体験をしたいという未知へのあこがれ。
- 2 怒りや悲しみや失意を乗り越えて、その先に進みたいという強い意志。
- 3 不条理に抵抗し、タブーを犯して限界を超えようとする挑戦的な精神。
- 4 極限や臨界を超えたところに存在するものを知りたいという本能的な欲求。

解答欄(14)にマークすること

問七 次の1～4の中で、本文の内容と合致しないもの一つ選べ。

- 1 本来は苦痛であるはずの恐怖が時として娯楽になり得るのは、恐怖が極限や臨界を超えたところに存在するからである。
- 2 Nと生徒たちの〈恐怖〉についての逸話は、人々が恐怖というものにいかに関心を持っているかをよく物語っている。
- 3 日々恐怖に悩まされている人々が感じている恐怖と、恐怖を体感するアトラクションで感じる恐怖は、実はまったく同じ性質のものである。
- 4 精神的な疾患の背後には、往々にして本人が気づいていない過去の恐怖体験が隠れていることがある。

解答欄(15)にマークすること

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

成田空港にいる人達の服装は、明らかに変です。フ段<sup>a</sup>、町中を歩いている時には感じないような異様なムードが、成田空港を歩く人々の服装からは盛んに発サン<sup>b</sup>されている。果たしてこの異様さ、イ和感<sup>c</sup>の正体とは、何なのでしょうか？

旅行というものは、オンとオフで考えれば、生活におけるオフタイムの行動とすることが出来ます。そしてハレとケで言えば、ハレの時間。日本人はこの、オン・オフを縦軸に、ハレ・ケを横軸にした時に「オフ」と「ハレ」に挟まれた象限における服装、というものがものすごく苦手なようです。

「オン」で「ケ」であれば、サラリーマンやOLのスーツがあげられましょう。「オン」で「ハレ」だったら、式服や礼服になるのだと思う。そして「オフ」で「ケ」となると、ジャージとかジーンズといったカジュアルな服。

で、問題の「オフ」で「ハレ」な旅行時ですが。これはつまり、カジュアルなだけけれど、他人（それもガイジン）から見られたり、後々まで残る写真に撮られたりすることを意識して選ばなくてはならない服、です。さらには暑さ・寒さ、機内での過ごし易さといったことも考慮に入れた服装でなくてはならない。

このようにあまりにも与えられる条件が多すぎるために人々の頭が混乱状態に陥ってしまった結果、妙に派手

とか、組合せがチン妙<sup>d</sup>とか、明らかに着馴れていない新品、といった「成田ファッション」ができあがってしまったのだと思う。

成田ファッションというのは、主に中高年に多く見ることができます。彼等は、単に海外旅行に慣れていないという理由だけで、トチ狂ったような格好をしてしまうものではありません。彼等は、オンとオフ、そしてハレとケの区別が非常にはつきりした時代に育った世代です。おでかけする時はおしゃれをし、家にいる時は多少ボロでもいい、というのが彼等にとっての常識。

そんな彼等の生活に、と言うよりはそもそも日本において、「オフ」で「ハレ」、という矛盾をはらんだ象限は、存在しなかったのではないか。

〔 I 〕

昔は、日本人にとっての旅行は、「オン」で「ハレ」に属する行事だったような気もするのです。日本の観光地へ行くと中高年のご婦人は、スーツにパンプスといった格好で歩いていたし、背広姿の男性も存在した記憶がある。子供の私は、「なんでこんな歩きにくそうな靴で旅行するかなあ」と思っていたものです。さらに両親の世代の新婚旅行の写真をみると、新郎新婦はほとんどパーティーファッションのような服装で出かけていたようです。

A

昔の旅行とは、のんびり・ゆったりするための行為ではなく、緊張して臨むべき、ものすごく特別

な「おでかけ」、だったのです。彼等は、旅行が今のようにな  
ア するなど、夢にも思っていなかったの  
はないか。

〔 II 〕

時代が流れるにつれ、オンとオフ、ハレとケの境目は低くなりました。そこで「ドレスダウン」とか「一人で家にいる時でもおしゃれな私」といった思想が流布。「おでかけだからおしゃれ」とか「家にいるからラクチンな服」と一概に言えなくなった。若者達は、象限と象限の境を越えた服装をするようになりました。

〔 III 〕

この「オフ」で「ハレ」な行為には他にどんなものがあるかと考えてみると、たとえば「ちよつとしたホームパーティー」などがそうかと思えます。が、狭い日本家屋に住む私達の間にはそんな習慣は無い。「ちよつとしたホームパーティー」に適した服を持っていない日本人は、海外旅行に何を着て行くかで悶々とする事となりました。

〔 IV 〕

結果、成田空港に出現するようになったのは「オン」「オフ」「ハレ」「ケ」の要素がごちゃ混ぜになった格好。父母会系ワンピースの上に屋外用ジャンパーを着て、足元はストッキングにスニーカー、とか。ゴルフのポロシャツにのびのびジーンズにスーツ用のベルト、とか。海外旅行に行く不安、のようなものが一目で見とれる、抛

り所を失ったファッションなのです。

海外旅行通の人はよく、

「海外で和服を着ればモテモテ」

とか、

「ヨーロッパで作務衣さむえがウケる」

といったことをおっしゃいます。それは、別に和服が世界的に見て特別に素晴らしい衣装だからというわけではなく、「どんな国の人も、外国の民族衣装には一応の敬意を払う」という事実の結果なのでしょう。

② 海外で和服を着るといふ行為は、「抛り所のある人間」として自分を見せるといふ意味においては、有効だと思います。パリのサンジェルマン・デ・プレを和服で歩く観光客が変人に見えることは確かですが、ワンピースにジャンパーに新品のスニーカー（そして往々にして帽子）という格好で歩く観光客よりは、犯罪に遭う率は低いと思う。抛り所の無さそうな人というのはある種の弱者であり、もし私がひったくりをしたら、確実に「変人」より「弱者」を狙うと思うので。

最近では、旅行で何を着ていいかわからない中高年も安心して手を出すことができる、ユニクロのようなカジュアルファッションメーカーが増えていきます。お父さんも、重い革ジャンや会社用のコートでなく、安くて軽いフリースを着て旅行に行けばいいことに気付いたかと思うと、ちよつと安心。

B

「成田ファッション」は、中高年だけの問題ではありません。子供が遠足に行く時の服装というのは大体において変なものですが、それがそのまま大きくなったような格好の若者を、たまに見かけるのです。なぜか髪は切ったばかりで、着脱しやすいようにと何枚も重ね着をし、リュックを背負い、おやその斜め掛けにしているのは水筒ですか、と思うとポシエットだったりする人。

日本の流行をそのまま持つていきすぎ、という若者もいます。パリに住む友人が、

「ガンダロがブームだった頃、渋谷にある若い子向けブティックのカリスマ店員とかいう人がパリに買い付けにやって来た時は、まるで珍獣のようなその存在感にパリ中の人々がブツ飛んでいた」

と言っていました。つまりカリスマ店員は、ガンダロに白い唇に厚底靴、といったファッションそのままパりに突入した、と。

しかしまあ、カリスマ店員の精神は、日本の文化をそのまま持つていくという意味で「海外で和服」の人達精神と何ら変わるものではない。やはり「変人」と見なされて犯罪に遭うこともないでしょうし、ある意味立派のような気もするのですが。

<sup>③</sup> 海外旅行に何を着ていくかは、本当に難しい問題なのです。自分の好きな服装ができないから旅行には行かない、という友人もいます。限られた枚数の服の中からコーディネートを考えなくてはならないため、イ 格好になってしまふのが嫌だ、というのです。

確かにそれは、よくわかる。特に予想外の暑さや寒さに見舞われると、服装計画が大幅に崩れて、ありつたけの物を着込んだり、また一枚しか持ってこなかった半袖で毎日過ごす羽目になったりすることがしばしば。

私の場合は、旅行先で合わせやすい服の順列組合せが一つのパターンしかないため、上着から靴までいつも同じ物を持っていきがち。その結果、どこに行っても同じ服で写真に写っているのです。

夏の旅と冬の旅とでは着替えの量が大幅に異なるのも、私の旅仕度の特徴です。冬は着替えがかさばるので、つい持っていくのがおっくうになってしまいうのですが、夏物衣料はいくらでも持っていける。ですからよく—<sup>e</sup>シヨに旅行に行く友達には、

「寒い場所ではいつも同じ服しか着ないのに、暑い場所ではやたらと衣装替えが多くなるのねえ」  
と不思議がられるのですが。

(酒井順子『観光の哀しみ』より)

問一 二重傍線部 a と e のカタカナを漢字に直した時、それと同じ漢字を使うものを、次の各群の 1 と 4 (傍線

部) からそれぞれ一つ選べ。

a 1 日本国憲法は一九四六年にコウフされた

2 コロナ禍の影響でオンライン会議がフキユウした

3 政治にフヘイフマンをもつ

4 転勤で大阪にフニンした

b 1 公園をサンポする

2 議案にサンセイする

3 米をセイサンする

4 アドバイスをサンコウにする

c 1 事件のケイイを説明する

2 彼の行為はルールイハンだ

3 非常時にイリヨクを発揮する

4 ビートルズはイダイなバンドである

d 1 昨日の試合でチンジが起きた

2 チンタイ物件でひとり暮らしをする

3 ゲームに負けて意気シヨウチンした

4 暴動をチンアツする

e 1 美術品のシヨザイが不明だ

2 彼女はシヨコクを漫遊してきた

3 ここはユイシヨある場所だ

4 江戸時代のシヨミンの暮らしを調べる

a は解答欄 (16) にマークすること

b は解答欄 (17) にマークすること

c は解答欄 (18) にマークすること

d は解答欄 (19) にマークすること

e は解答欄 (20) にマークすること

問二 空欄 A・B に入る語として最も適当なものを、次の各群の 1～4 からそれぞれ一つ選べ。

A 1 それゆえ 2 しかも 3 むしろ 4 つまり

B 1 しかし 2 そして 3 もちろん 4 いわば

A は解答欄 (21) にマークすること

B は解答欄 (22) にマークすること

問三 空欄ア・イに入る語として最も適当なものを、次の各群の 1～4 からそれぞれ一つ選べ。

ア 1 ノーマル化 2 カジュアル化 3 ファッション化 4 リーズナブル化

イ 1 不可解な 2 不本意な 3 不自然な 4 不適切な

ア は解答欄 (23) にマークすること

イ は解答欄 (24) にマークすること

問四

傍線部①「オフ」で「ハレ」、という矛盾をはらんだ象限は、存在しなかったのではないか」とあるが、筆者がこう考える理由としてふさわしくないものを、次の1～4から一つ選べ。

- 1 かつての日本人の旅行は、緊張して臨むべき特別なものだったと考えられるから
- 2 日本ではちよつとしたホームパーティーを開く習慣はないと考えられるから
- 3 日本の中高年はただ海外旅行に慣れていないだけだと考えられるから
- 4 日本人の旅行とは「オン」で「ハレ」に属する行事だったと考えられるから

解答欄(25)にマークすること

問五

傍線部②「海外で和服を着るといふ行為は、「抛り所のある人間」として自分を見せるといふ意味においては、有効だと思えます」とあるが、筆者がこう思う理由として最も適当だと考えられるものを、次の1～4から一つ選べ。

- 1 旅行先でウケて、モテモテになるから
- 2 民族衣装として敬意が払われるから
- 3 日本の文化をそのまま持つていく精神をもっているから
- 4 海外旅行に行く不安を見せないから

解答欄(26)にマークすること

問六 傍線部③「海外旅行に何を着ていくかは、本当に難しい問題なのです」とあるが、筆者がこう述べる理由

として適当でないと考えられるものを、次の1～4から一つ選べ。

- 1 旅行先で合わせやすい服を持っていくこうとするから
- 2 日本で流行している服を持っていきたいから
- 3 人から見られたり、写真に撮られたりすることを意識するから
- 4 暑さや寒さ、過ごしやすさを考えるから

解答欄(27)にマークすること

問七 次の1～4の中で、本文の内容に合致するものを一つ選べ。

- 1 旅行におけるおしゃれのために、日本の流行や文化を意識しなければならない
- 2 海外旅行はさまざまな条件を考慮しなければならず、特有のファッションが生み出されやすい
- 3 カジュアルファッションメーカーが増えたおかげで、旅支度も楽になった
- 4 最近では、オンとオフ、ハレとケの境目が低くなったため、成田空港には変な格好の人達はいなくなった

解答欄(28)にマークすること

問八 次の段落が入る最も適当な場所を、後の1～4から一つ選べ。

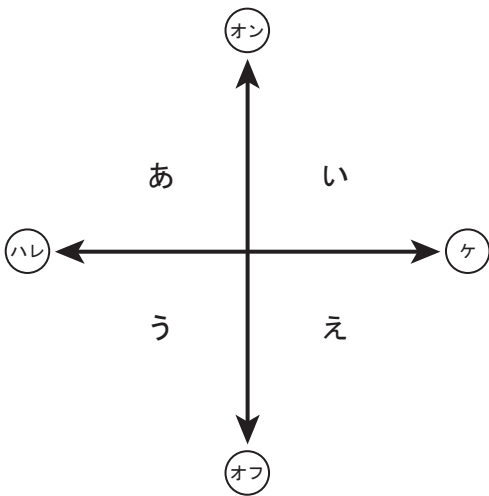
と、そこにやってきたのが、海外旅行ブーム。「お休み」だけど「おでかけ」というこの行為に適した洋服は、中高年のワードローブの中にはありませんでした。

- 1 ( I )      2 ( II )      3 ( III )      4 ( IV )

解答欄(29)にマークすること

問九 左は原文に掲載されている象限図である。あくえに入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の

1～4から一つ選べ。



- |   |   |      |   |             |   |       |   |       |
|---|---|------|---|-------------|---|-------|---|-------|
| 1 | あ | 民族衣装 | い | 背広          | う | ジャンパー | え | ジーンズ  |
| 2 | あ | 礼服   | い | パーティーファッション | う | ポロシャツ | え | ジャージ  |
| 3 | あ | 式服   | い | スーツ         | う | 旅行服   | え | カジュアル |
| 4 | あ | 和服   | い | ワンピース       | う | カジュアル | え | フリース  |

解答欄(30)にマークすること

以上で問題は終わります。

# 一般入試 解答

## 国語 一般入試 I 期A

大問	解答番号	解答	大問	解答番号	解答
一	1	3	二	16	2
	2	1		17	1
	3	4		18	2
	4	2		19	1
	5	4		20	3
	6	3		21	4
	7	2		22	1
	8	1		23	2
	9	2		24	2
	10	4		25	3
	11	4		26	3
	12	1		27	2
	13	3		28	2
	14	4		29	3
	15	3		30	3